

【三先師合同法要ご案内】

玄海和尚50回忌・月叟和尚300年忌・中興三
室和尚350年忌を下記にて執り行いますお参り
ください。

日時・令和3年11月9日（火）

午前11時より

場所・安住寺本堂

導師 万寿寺・佐々木道一老大師

法要会費・五千円（御仏前・記念品・お弁当）

※市内で参列を希望される方は、地区世話人様を
通してお申し込みください。市内地区外、市外で参列
を希望される方はお寺に直接ご連絡ください。



中央腰を下ろされている方が、玄海和尚様
二列目右隅、閑栖和尚 左隅、植木文蔵氏

をい会る雛月し住門間様郡遠ま
し戦、にほ僧南はた寺道、に俗年れる
の前晩もかか教僧南はた寺道、に俗年
び戦年貢、育寺庫中職各所般八の金
、後法さ仏さの役姫昭り業・得度ま
報大務れ教多職路和、を花度ま六と
恩大務れ教多職路和、を花度ま六と
変をま会数のを市八、を園さでいの
念な務した長、の歴網年昭れま、明
新時めた。小任干三和れ済て明治
た代る。・僧すの月十し大い治治
にのをの残民僧る龍か四た学三二
、が念生をる門ら年た。選す七
五護精な児指ほ門寺昭三。選す七
十持いこ童導か寺昭三。選す七
回にっと委し、住職十七正・大年
忌尽ばに六・安住を務年日四徳三
をおさの十代護寺住め十一月門大
勤れたよ半司で青年なりま住一月
いた玄でばなど年なりま住一月
し和た脳務校れし四と一正四梁
ます尚。梗塞めてた。年な日眼年
様の。の遺徳社すはかま安専尚
の遺徳社すはかま安専尚



禅の心

第176号

令和3年 秋号
発行 安住寺(年4回)
臨濟宗南禪寺派
〒873-0002
杵築市大字南杵築379
Tel 0978-62-2680
Fax 0978-62-3980
http://www.anjuji.net
編集責任 矢野明玄

敬老者の皆さん ご長寿おめでとようございます！

令和3年度 長寿番付表 安住寺敬老場所

東	年齢	住所	御免蒙	西	年齢	住所
田代ハツコ	103	城山	横綱	阿部ヤエ子	101	弓町
古田初子	100	西大内山	大関	平野芳彦	99	南台
麻生秀子	99	藤の川	同	阿部睦子	98	西大内山
柏屋小夜子	98	宗近	関脇	藤原ユリコ	97	東大内山
井上恵美子	96	東大内山	同	田椽美智子	97	南台
田辺コウ	96	広島市	同	阿部ノブ子	96	西下司
土肥妙子	96	永代橋	小結	麻生博行	96	藤の川
江藤モリ子	96	東大内山	同	上美枝子	96	座間市
小玉和江	95	杉山	同	須賀悦子	95	杉山
清末鈴子	95	東大内山	前頭1	須賀ミヤ	95	東下司
荒巻ミヨ	95	西上	前頭2	岩口花子	94	守末
原ヨシ子	94	煙硝倉	前頭3	二宮しん	94	猪尾
麻生義子	94	藤の川	前頭4	藤原ヒサ子	94	西大内山
川上浩	93	宗近	前頭5	麻生恵美子	93	中平
宗田初子	93	東下司	前頭6	諸富タマ	93	西下司
八坂周子	93	杉山	前頭7	諸富サヨ	92	別府市
渡邊チカ子	93	西下司	前頭8	河内辰馬	92	新興
廣石フサエ	92	宗近	前頭9	加藤マサ子	92	西下司
是久和子	92	西下司	前頭10	秦エミ子	92	南台
藤原常一	92	西大内山	前頭11	上園ナミ子	92	東大内山
吉田八重	92	永代橋	前頭12	藤原和子	91	西大内山
麻生トキ	91	藤の川	十両1	藤原サト	91	西大内山
土谷岩治	91	天満	十両2	木村幸子	91	大分市
山本治	91	大分市	十両3	下原正徳	91	東下司
藤原定喜	91	行橋市	十両4	大石勝子	91	魚町
綾部昇吉	91	谷町	十両5	阿部榮藏	91	大分市
廣石須美	91	東下司	十両6	是久義則	91	杉山
渡邊健治	91	福岡市	十両7	安部草平	91	南台
矢野エミ	91	中平	十両8	川上シゲ子	91	宗近

今年は大分県内の100歳以上の敬老者が、初めて
1000人を超え1091人となったと発表がありました
。毎年続けています安住寺の長寿番付ですが今年
新たに番付入りされた方は4名のみです。
さて、下のお写真は東の大関になっています、市
内西大内山の古田初子さんが、市長からお祝いを
贈呈された時のもの。（杵築市広報より）

先日、古田家へご法事でお伺いしましたところ、
初子さんにお会いすることができました。お話を
伺えば、食事もよく召し上がられるし、何より頭
がしっかりしているとのこと。お孫さんや家族皆
さんの生年月日を記憶し、誕生日が近くなると
お祝いを準備したり、電話で連絡をされるとか。
残念ながら、コロナ禍で親族皆さん集まってい
たお祝いは出来なかったのですが、皆さんきつ
と喜ばれていることと思います。

本年度も安住寺合掌会による敬老会は中止とな
りましたが、敬老者の皆様には心よりお祝い申し
上げるとともに、益々お元気で過ごしてください
ますよう、願っております。



祝100歳
ふるた はつこ
古田 初子さん(西大内山)が満100歳に

君看よ双眼の色

敬老の日は過ぎましたが、南禅寺の管長を退任された中村文峰老師は今年九十一歳を迎えました。修行中にお話も長寿の隠待として仕え、色々とお話が伺えました。

お母様のお話を思い出します。九十歳でお亡くなりになつています。中修業期間の師家になつた大接心（お母様は亡くなりなつたそうですが、とお母との約束を守り、死に目にあつた）とはなかつたといふので、その約束が、詳しく文峰老師の著書の中の一節が、

「あなたの手巾という水引を締めて仏様に差し上げた人である。私が危篤で式も帰ることはない。修行僧の育成や公の約束は優先しなればなりませうです。」

お母様の体調不良の知らせを受け、翌朝の朝課中に亡くなられたこと。亡くなつた日も公務があり、付けたと伺いました。何か葬儀には駆け付けた一人で亡き母の待つ故郷に向かう列車の中で、白隠禅師『槐安国語』の句を思いながら母の死の实感が込み上げてきたと見えます。語らざれば憂い無きに似たり。

（私の眼の中を見てください。表面上何の變化もないように見えるが、深い悲しみと憂いの涙で一杯です）

水引を締めて仏様に差し上げた身と、いえども、文峰老師がお母様を思われ

さて、コロナ禍になつてからはどうして、施設や病院に入り、最後の看取りができない話を聞き、また、葬儀やご法事も得ず、こじまると少人数でお勤めされる方もあり、抱いた方の癒しとなる大切なもので

まだ以前のような日常は先ずうです。大切なたい念ずる心は常に持つていたのです。

田みつをさん、双眼の色を、ご紹介します。

『憂い』

むかし人の詩にありました君看よ双眼の色

憂いがないのはありません

語れないほど重みだから

全くとわかってもらえないから

じつとこらえてるんです

文字にも表せない

おもしろいかなしみを

こころの底ふかく

じつと黙つてるから

まなこが澄んでるのです

澄んだ目の底にある人間なろう

重いかんじの見える眼を持とう

君看よ双眼の色



みつを

《日々是好日》

★八月三日、山門施食会。昨年に続いて法要のみのお勤めとなり、八月七日、十五日の、棚経参り。★八月七日、十五日の、予定など手伝いになった出来ません。おし

参りを手伝いました。一日、何とかが、人に任せお勤めしました。優し見守

お経は読めたようでした。感謝申しあげ

つてくたさつた方々に感謝申しあげ

ます。★例年お盆の時期に、護持会費と

地管理料の納入をお願いして、お礼申し

費が嵩む折に、ご協力いただき、お礼申し

上げます。市外、県外の方も、お振込み

上げます。★八月は月例行事をお休みし

たが、九月より再開してあります。★九月七日、

会等、ご参加お待ちしております。★九月七日、

合掌会役員会。敬老会中止によるお祝い品配布。

バザール中止確認。奉仕作業は合会前の、十月二

十二日（金）を予定しております。★九月十日

障子の張替えもおこないます。★九月十日

ます。★九月十六日、南禅寺派内研修会。★十

月三日、貴布祢神社大祭。★十一月三日、文化の

日）別紙予定もおきまして、行事も十分感染対

ワクチン接種も進んでいきます。ご理解の程お願

のリスクがあり開催します。お寺での行事も十分感染対

策を行つて開催します。ご理解の程お願



合掌

《月例行事》

- 座禅会
- 9月25日（土）
- 10月より6:30～
- 10月9日（土）
- 10月23日（土）
- 11月13日（土）
- 11月27日（土）
- 12月11日（土） 納会
- 写経会
- 10月27日（水）
- 11月24日（水）
- 12月21日（火） 納会

感動をありがとう

平成31年の春彼岸号に、競泳の池江璃花子選手が白血病になったことを記事にした。この夏の東京オリンピックで彼女は400mリレーで決勝に舞台に立った。レース後「本当に幸せ」とコメントした。彼女の姿から、沢山の方が感動と喜びを貰った。問題や賛否のあったオリンピックであったが、純粋に競技に臨む選手の姿は美しく素晴らしい！絶え間ぬ努力を続けてこられた選手たちに改めて、感動をありがとう!!